

2018年10月12日

「都市の緑3表彰」の受賞者決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二)が特別協賛する「都市の緑3表彰」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

1. 第29回「緑の環境プラン大賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成、環境保全の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプラン実現のために緑化整備費を助成するものです。

2. 第38回「緑の都市賞」(主催:公益財団法人都市緑化機構)

緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰するものです。

3. 第17回「屋上・壁面緑化技術コンクール」

(主催:公益財団法人都市緑化機構)

都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている団体、個人等を表彰するものです。

当社は、DSR¹経営の一環として、「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を社会貢献の中心取組テーマに掲げ社会課題の解決に取り組んでいます。当賞は、「環境の保全」の観点から、都市緑化や景観の向上、地域社会の活性化、それらを通じたコミュニティの醸成等を促進しようと、長年にわたって取り組んでいる社会貢献事業です。

(別紙1)第29回「緑の環境プラン大賞」審査結果

(別紙2)第38回「緑の都市賞」審査結果

(別紙3)第17回「屋上・壁面緑化技術コンクール」審査結果

第29回 緑の環境プラン大賞 審査結果

全国から、シンボル・ガーデン部門 16 点、ポケット・ガーデン部門 28 点、特別企画「おもてなしの庭」3 点、計 47 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

■シンボル・ガーデン部門(1点当たりの助成額上限:800万円)

地域のシンボリックな緑地として、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するプラン

■ポケット・ガーデン部門(1点当たりの助成額上限:100万円)

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するプラン

◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	輪島の朝市横蝶～ 蝶々とあそぶ みんな の庭をつくろう (石川県輪島市)	チームおんぺこ	輪島朝市通りに通じる街中の空き地を、緑豊かで蝶が舞う交流の広場とするもの。蝶をはじめ能登の里山で見ることができる生き物を誘引し、子どもから高齢者までが集い、共に庭仕事を楽しむことのできる交流拠点を目指す。	
ポケット・ガーデン	地域の団らん 「遊歩道」 ～フラワー・ピースフル・ロード～ (宮城県仙台市)	仙台ナーサリー 株式会社 ピースフル 保育園	保育所前にある水道管上部の未利用地を緑化し、子どもたちが植物や食に興味を持てる空間とするもの。地域の方が気軽に立ち寄れる「フラワー遊歩道」としても開放し、地域と子どもたちの関わりの場とすることを旨とする。	

◎緑化大賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	花の歩話人ロード 西公園 (宮城県仙台市)	西公園を遊ぼう プロジェクト	明治8年開園の歴史ある西公園において、針葉樹の大木により暗く寂しくなった園路沿いに、花畑とベンチ、テーブルを整備して明るい環境とし、人々が憩い、賑わう空間へと再生することを目指す。	
	緑とお花と癒しの広場・地域の「どぎやんね・ガーデン」 (熊本県熊本市)	社会福祉法人 沼山津福祉会 光輪保育園	未利用地を活かし、園児と自治会など地域の人々でつくり楽しむコミュニティ・ガーデンとして整備するもの。熊本地震による、被災から2年が経過し、地域コミュニティカが求められるなか、庭づくりを通じて地域の交流の輪を広げることを目指す。	

◎コミュニティ大賞 <9点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	こくちょう広場 ～季節を感じる 場所に～ (宮城県仙台市)	社会福祉法人 仙台愛隣会 穀町保育園	園庭を3つのエリアに分け、テーブルやベンチを配置し、シラカシ、クヌギ、ツバキの実を使ってままごと等でじっくり遊ぶ「どんぐり広場」、三輪車で緑のトンネルをくぐることもできる「わいわい広場」、畑や樹木・草花で四季を感じる「季節の広場」とするもの。	
	地域の魅力を共有・発信する 青葉山 フットパーク (宮城県仙台市)	青葉山・八木山 フットパスの会	青葉山フットパークは、地元住民が身近に楽しめる緑地を目指すとともに、散策者の休憩所としての活用も想定している。対象地周辺の住民を中心として様々な人たちの参加のもとで整備を行う。	
	変革！ 「保育園森プロジェクト」地域の人と繋がる窓へ (福島県郡山市)	社会福祉法人 どろんこ会 郡山どろんこ 保育園	園を大きな家と捉え、①ビオトープでの水・命の経験 ②木(実・植物・木のぼりの木・枝)で「真に必要な体験」＝五感を十分に使い直接的な自然体験の場で、制限のない空間と時間の中で遊びこめる場を造り、地域の方が集え自由に行き来できる場を目指す。	
	「自然を身近に! 心も身体も動き出したくなる園庭」 整備 (静岡県浜松市)	社会福祉法人 住吉会 すみよし保育園	子ども達のより良い環境としての園庭作りを考えている。自然の中で太陽の光を浴び、木陰で語らい、草の中に虫を見つけ、心を開放し、全身を使って遊ぶことができる園庭を目指す。	
	花と緑の 四季彩まちづくり (奈良県生駒市)	ECOKA 委員会	郊外型大規模住宅開発地において、真の豊かさを実感できる花と緑の都市環境の形成を図るとともに、住環境の向上やコミュニティの醸成に役立つことを願い、四季彩の街にふさわしい魅力ある花壇づくりを行う。	
	木の都 上町台地 における「ともいきの里庭」整備プラン (大阪府大阪市)	特定非営利 活動法人 まち・すまいづくり	斜面緑地と一体となる緑地を形成する庭の整備と、台地の湧水を活用した溜池を再生し、都市部で水生生物や自然と触れ合える「ふれあいの庭」として、斜面緑地の機能(生物多様性保全など)を知ってもらう空間作りを行う。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	水がせせらぎ 蛍の棲む 高層住宅の中の シンボル緑化 計画 (兵庫県西宮市)	社会福祉法人 パドマ園 パドマ・ナーサリー スクール	高層住宅の中に、蛍の生息する自然環境を整備し、今までになかった地域のシンボル緑地を形成。自然に親しむ事で子供の心と身体を育み、人と自然が共生できる場所づくりを行う。蛍をきっかけに季節の魅力を持たせ、コミュニティの活性化に寄与する。	
	モリアオガエルの 暮らす水辺の 植物ガーデン (広島県広島市)	広島市立 緑井小学校	対象地の付近には天然記念物であるモリアオガエルが生息しており、その生態を児童が気軽に観察できる環境を整備する。水辺の植物と周辺の林をつなぐ中低木を配したポケット・ガーデンを企画し、水生生物も飼育することを考えている。	
	ふるさとの山 (八面山) 回帰プロジェクト (大分県中津市)	元気会	八面山は、中津市民にとって母なる山として慣れ親しまれている。草屋根のかわいい小屋2棟と花壇、四季の草花を市民参加でつくり魅力ある公園にすることで、多くの方の関心を引き、八面山を訪れて楽しんで頂けることを期待する。	

○特別企画「おもてなしの庭」大賞 <1点> (助成額上限:2,020万円)

東京都が2014年12月に公表した「東京都長期ビジョン～『世界一の都市・東京』の実現を目指して～」の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることになみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、整備費を助成するものです。

作品名(場所)	受賞者名	概要	
江戸ルネサンス 伝統と文化が薫る おもてなし (東京都台東区)	台東区	2020年東京オリンピック・パラリンピックのマラソンコース上にあり、訪都外国人観光客の約半数が訪れる浅草寺の門前に位置する並木通り中央分離帯において、竹と朝顔をモチーフとする、江戸の伝統と文化の薫りを表現した「おもてなしの庭」を創出する。	

第 38 回 緑の都市賞 審査結果

全国から、緑の市民協働部門 41 点、緑の事業活動部門 13 点、緑のまちづくり部門 6 点、計 60 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。(賞金:「緑の市民協働部門」のみ 5~20 万円)

◎内閣総理大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	鶴見 「みどりのルート1」 (神奈川県横浜市)	鶴見 「みどりのルート1」をつくる会	緑が減少し、看板やゴミが増え、防犯や景観上の問題が発生していた国道沿道において、地域の市民が中心になって、店舗や学校等に呼びかけ、ブロック塀やフェンスの除去と、接道部の魅力的な緑化を実現し、維持管理活動の他、緑を楽しむイベントや勉強会等を実施している。	

◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	おおたかの森と名付けた平地林 (埼玉県所沢市)	おおたかの森 トラスト	所沢市北中地域において、地域の市民が中心となり、募金による土地の購入、借り受け等により、失われつつある武蔵野の平地林(22か所, 95,106 m ²)を保全し、子供たちと共に豊かな生態系を次世代に引き継ぎ、活動の輪を広げる取組を行っている。	
緑の事業活動部門	医療法人恵愛会 福間病院 (福岡県福津市)	有限会社緑風会/ 医療法人恵愛会 福間病院	昭和 30 年の創設以来、緑に包まれた病院を作ることを理念とし、緑地を治療に活用した『自由開放療法』を行っており、江戸時代から続く敷地内の松林の保全を通じて、地域の特徴的な景観を保全している。	
緑のまちづくり部門	農の活きるまち 「ねりま」 (東京都練馬区)	練馬区	都市農地の急速な減少に歯止めをかけるために、農業支援者を育成しマッチングする「援農」や、農園主が運営する農業体験農園等、都市ならではの様々な取組により農地を活かしたまちづくりに取組んでいる。	

◎都市緑化機構会長賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の 市民協働 部門	自由に楽しむ 朝霞の森広場を みんなで育てる (埼玉県朝霞市)	朝霞基地跡地の 自然を守る会/ 朝霞の森 運営委員会	基地跡地において、「自分の責任で楽しむこと」「みんなで育てる広場とすること」を謳った「朝霞の森憲章」に基づき、暫定利用広場「朝霞の森」の管理運営を担い、利用者の安全確保や、緑地の維持管理、広場を楽しむイベントを行っている。	
緑の 事業活動 部門	大阪 ステーションシティ (大阪府大阪市)	大阪ターミナル ビル株式会社/ 西日本旅客鉄道 株式会社	都心のビルでありながら、至る所で自然と季節を感じ、地上1階から屋上まで、施設全体を回遊したくなるよう、屋内外に約3,000㎡の四季折々の草花を用いた緑化空間を配し、都市を歩き交う人々の憩いの空間を創出している。	
緑の まちづくり 部門	津波防災緑地等の 多重防御による 復興まちづくり (福島県いわき市)	福島県いわき建設 事務所/いわき市/ 薄磯区/豊間区/ 独立行政法人都市 再生機構宮城・福島 震災復興支援本部	東日本大震災で被災した沿岸部の復興のまちづくり事業で、津波防災緑地や公園に、市民参加で地域のどんぐりを実生から育て植栽し、地域の樹木のDNAを新たなまちに継承する取り組みを行っており、コミュニティの活性化を実現している。	

第 17 回 屋上・壁面緑化技術コンクール 審査結果

全国から、屋上緑化部門8点、壁面・特殊緑化部門 14 点、特定テーマ部門3点、計 25 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	GINZA SIX (東京都中央区)	銀座六丁目 10 地区市街地 再開発組合/ 株式会社谷口建築設計研究所 /鹿島建設株式会社/ 株式会社プレイスメディア	本作品は「松坂屋銀座店」跡地を含む街区と隣接街区で構成された約 1.4ha を一体的に整備した。「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と「街の賑わいを楽しむ西洋の広場文化」を融合したコンセプトにランドスケープデザインを行っている。	
壁面・特殊緑化部門	新山口駅 「垂直の庭」 (山口県山口市)	山口市/ 新山口駅南北自由通路 「垂直庭園」実行委員会/ 株式会社プランツアソシエイツ/ 株式会社 パーク・コーポレーション	本作品は“新山口駅ターミナル整備事業”として南北自由通路に整備された。山口の里山を表現し、約 135 種の在来種を使用した。地域の植生を P・ブラン氏による壁面緑化のアートとして再現し、施工時から地域住民が参加している。	

◎環境大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	パッシブタウン 第 1 期街区 + 第 2 期街区 (富山県黒部市)	YKK 不動産株式会社/ 株式会社プレイスメディア/ 株式会社エステック 計画研究所/ 株式会社楨総合計画事務所/ 戸田建設株式会社/ 株式会社野上緑化/	本作品は環境や自然をありのままに受け入れ、活用する「パッシブデザイン」をキーワードに社宅跡地 (36,100m ²) を整備した。水、風、自然光、土、それらに育まれる緑など、黒部の自然環境が有するポテンシャルを最大限に生かしている。	
壁面・特殊緑化部門	福德神社 ・ 福德の森 (東京都中央区)	三井不動産株式会社/ 株式会社日本設計/ ランドスケープデザイン塾/ 清水建設株式会社/ イビデングリーンテック 株式会社/	本作品は、1,100 年以上の歴史ある「福德神社」を再建、神社と一体の「福德の森」を創造し、駅からの地下歩行者ネットワーク形成等の地域貢献を行いながら、人工地盤上に地域の精神的な拠り所となる緑豊かな空間を表現している。	 @川澄・小林研二写真事務所

◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	太田市美術館・図書館 (群馬県太田市)	太田市美術館・図書館/ 株式会社平田晃久 建築設計事務所/ 株式会社エスエフジー・ ランドスケープ アーキテクト/ 株式会社プランタゴ/ 石川建設株式会社/ 株式会社山梅/ 株式会社イケガミ	本作品は太田駅北口に建つ美術館、図書館、カフェやショップ、AVホールを有する文化交流施設である。太田駅前に「山」をつくることを考え、外構から屋上まで全体がひとつの山となるよう、枝葉が横に広がる樹種や壁面に垂れ下がる植物を使用し、独立した屋上に連続性を与えている。	 ©daici ano
壁面・特殊緑化部門	小学館ビル (東京都千代田区)	小学館不動産株式会社/ 株式会社日建設計/ 鹿島建設株式会社 東京建築支店/ 西武造園株式会社	本作品は東京を代表する「本の街」神保町の白山通り沿いに立地するビルの建替に伴う壁面緑化である。構造鉄骨を有効に活用し、設備機器を遮蔽し、都市に象徴的な緑化景観を提供している。特徴的なファサードとのコントラストは、都市と自然の調和性の創出に寄与している。	

◎都市緑化機構会長賞 <5点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	グローバルゲート (愛知県名古屋市)	株式会社竹中工務店/ 有限会社オンサイト計画 設計事務所/ 株式会社朝日興産	本作品は名古屋駅南西の新しい街「ささしまライブ 24」の中核施設である。2棟の超高層ビルの足元を緑豊かな屋上緑化でつなぎ、様々なレベル差を持った「第2の大地」として、緑地を確保しながら、密度を変えて人の居場所を創りだしている。	
壁面・特殊緑化部門	コイズミ緑橋ビル (大阪府大阪市)	小泉産業株式会社/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社田中造園	本作品は大阪市内の住宅地に位置する研究開発施設(あかりの杜)である。まちに対しては“緑段のPARK”、ワークプレイスに対しては“各段のGARDEN”として、適度なヒューマンスケールとリアルな自然との関わりを創り出している。	
壁面・特殊緑化部門	横浜野村ビル「グリーンラジエーター®」 (神奈川県横浜市)	野村不動産株式会社/ 清水建設株式会社/ 株式会社フィールドフォー・ デザインオフィス/ 株式会社コマヤマ環境/ みのる産業株式会社	本作品は両面に緑化を施した縦型緑化ルーバーを外壁面と垂直に自立設置したシステムである。緑化基盤からの蒸発散により、都市のクールスポットを創出するだけでなく、森の林縁部や岩場等に自生する植物を採用し、人と自然が共生するデザインを実現した。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
特定 テーマ 部門	アトレ恵比寿 西館 空中花園 (東京都渋谷区)	株式会社アトリウム/ 株式会社アトレ/ 株式会社ジェイアール 東日本建築設計事務所/ 大成建設株式会社/ そら植物園株式会社/ イビデングリーンテック 株式会社	本作品は JR 恵比寿駅西口広場にオープンした駅と直結した商業施設の屋上ガーデンテラスである。「圧倒的に豊かな緑量」「人を魅了するシンボルツリー」「サプライズ」「オプション演出」をキーワードに来訪者に愛される場所、「非日常」の空間を創出している。	
特定 テーマ 部門	本等鮨 海馬 (東京都中央区)	株式会社 kt 一級 建築士事務所/ 神戸山手大学/ 河野工務店/ 株式会社 SOUL EAT/	本作品は東京京橋の骨董通りに位置する鮨屋のファサードである。鉄のフレームを組み、6つの箱型扉に緑のプランターを乗せている。水やりはスタッフの日課としており、植物の状態を意識し、常にきれいなファサードを維持している。	

以上